

2023年 2月 26日

主 日 礼 拝

司 会 ②白川 達男兄

奏 楽

祈 禱 ②寺澤 政枝姉

賛 美 聖歌584番 ~主と~

十 戒

聖書朗読 民数記13章1~20節

特別賛美 サインダンス 「あなたはわたしの目には」

メッセージ 「次世代へのリバイバルの希望」

石井 潤 牧師

献 金 新聖歌18番 ~主イエスをほめよ~

祝 禱

お知らせ 〔司会者〕

賛 美 賛美 「見よ、わたしは新しいことをする」

☆礼拝にお越しくださった皆様を心よりご歓迎いたします!☆
《今週のお知らせ》

★本日も礼拝の恵みを感謝致します。今週も主の守りをお祈りいたします!

☆今週の祈り会：○早天祈祷会、明朝6時。◎木曜祈祷会：①午前10時半、

②夜7時半（大和祈祷会ライブ映像）。○準備祈祷会：土曜夜8時。

★来週の日曜礼拝では誕生祝福式。（司会：石井秀人兄／祈祷：石井洋子姉）

☆一年に一回聖書を完読できる! Bible Reading Plan [2/26-3/5]

Date	日	月	火	水	木	金	土	日
旧約	民数記 7-8	9-11	12-14	15-16	17-20	21-22	23-25	26-28
新約								
チェック	〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇	〇〇〇	〇〇	〇〇〇	〇〇〇

「次世代へのリバイバルの希望」

～主は世代を超えて尊い御業をなされる～

「ですから私たちも、この安息の地に入れるように最善を尽くしましょう。イスラエルの人たちが神に不従順であったために入りそこねたことを、肝に銘じようではありませんか。」

へブル人への手紙4章11節 [リビングバイブル]

「荒野にて」というのがこの民数記の副題となっています。シナイ山で律法を頂いた民は、乳と蜜の流れる地カナンに向けて、シナイの荒野を出発しました。その人数がこの民数記で数えられましたが、20歳以上で戦いに出ることのできる男子の数は約60万人いました。それ以外の年齢の男子や子どもや女性たちを合わせたら、約200万人以上になっていたであろうと言われます。そして、計算した人がいましたが、この彼らが、5列ずつの隊列で、1メートル間隔で進んだとしたら、その長さは約400キロメートルになったであろうと言われます。また、ある人物は、この集団がシナイ山を出発しても、300キロメートル以上も離れたカデシ・バルネアに先頭の集団が到着しても、まだシナイ山には出発せずに待っているグループがあったであろうと語っています。車でも時速100キロで走っても4時間かかるような距離の集団だったわけです。そんなグループをモーセ一人が食べ物も飲物もない荒野を先導することなど本当に至難の業であったことは容易に想像できます。

13章では、カナンの地を目の前にして、偵察隊を送るようにということで、彼の地を探らせました。しかし、その地の民を見た時に、彼らの心は萎えてしまって、約束の地を勝ち取るために戦う気持ちを持てなくなっていました。どう見ても、自分たちは弱く見え、敵は圧倒的に強く見えたからです。しかし、それは、彼らの肉眼でしか見なかったからです。12人の偵察隊の中で、10人はそのようにしか見えませんでした。しかし、ヨシュアとカレブだけは、信仰の目、すなわち、主を信じる信仰によって彼の地を見たので、彼らには勝利しか見えませんでした。同じ現実には直面したとしても、勝利する心になれる人と、敗北の心しか持てない人とは分かれてしまったのです。

しかし、その結果、民のほとんどは、不信仰になり、ヨシュアとカレブを石で打ち殺そうとしました。その不信仰の結果、約束の地を目の前にして、引き下がり、シナイ半島の根元にまで戻っていくこととなりました。そして、ヨシュアとカレブ以外の20歳以上の60万の人々は荒野でその生涯を終えるということになり、その次の世代が彼の地へと入ることを約束されたのです。これはもちろん、彼らにとっては、苦しい、悔しい結果となったかもしれませんが、ある意味では、次の世代に彼の地に入ることができるという明確な約束をいただくことができたということでもあります。だから、実は残念で終るのではなく、主の憐みに感謝しなければならないことなのかもしれない内容だと感じました。私たちの世代だけでなく、次の世代に向けて、素晴らしいリバイバルの春が訪れることを心より夢見て祈り続けましょう！